

第**199**期

中間株主通信

2018年4月1日～
2018年9月30日

daitobo
since 1896

ダイトウボウ株式会社
証券コード：3202

トップメッセージ



代表取締役社長 山内 一裕

株主の皆様には平素より格別のご高配とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第199期の中間株主通信（2018年4月1日～2018年9月30日）をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

<はじめに>

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、貿易摩擦の懸念が台頭する中、雇用・所得環境が改善傾向にあるなど、各種政策効果もあり緩やかな回復基調が続きました。

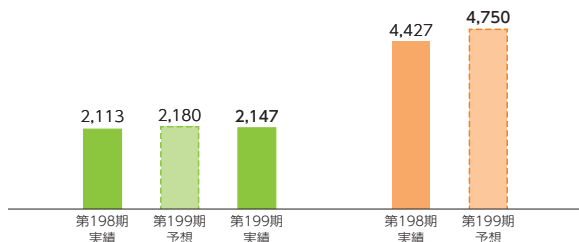
連結財務ハイライト

■売上高

2,147百万円

前年同期比 1.6%増
中間予想比 1.5%減

■第2四半期累計期間 ■通期 (単位:百万円)



こうした中で、当社グループは、今年度からスタートした「中期経営方針 Get Ahead of the Future ～新しい時代の先へ～」に基づく諸施策に鋭意取り組みました。

<当第2四半期連結累計期間の業績>

売上高は21億47百万円（前年同期比1.6%増）と増収しましたものの、商業施設事業の第4期開発に伴う減価償却費の計上やシンジケートローン実行に伴う登記費用などの一過性の費用計上が響き、営業利益は1億88百万円（前年同期比17.2%減）となり、経常利益は1億10百万円（前年同期比35.0%減）となりました。その一方で、2018年8月31日付で資本金を1億円に減資したことに伴い税金費用が改善し、法人税等調整額の計上や法人税等の負担を考慮した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億44百万円（前年同期比10.5%増）と前年同期比増益の決算となりました。

また、当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、通期業績予想の修正を行いました。（下段グラフご参照ください）なお、連結貸借対照表（単体は非開示）におきまして、資本金を1億円に減資したことなどに伴い、2018年9月末現在の利益剰余金の欠損額が4億62百万円（前期末比20億91百万円減）に改善しました。

<セグメント別の業績>

(商業施設事業)

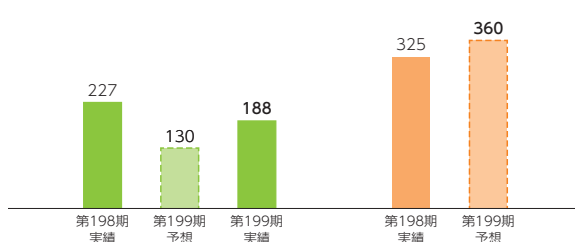
静岡県下有数の商業施設である「サントムーン柿田川」における第4期開発を予定通りスタートさせ、本年10月11日に別棟が先行開業しました。かかる中、サマーバーゲンや夏休み関連の企画を強化し集客力向上に努めたこ

■営業利益

188百万円

前年同期比 17.2%減
中間予想比 45.0%増

■第2四半期累計期間 ■通期 (単位:百万円)



ともあり、売上高は11億85百万円(前年同期比1.2%増)と増収となりました。しかしながら、第4期開発実施に伴う減価償却費53百万円の計上が響き、営業利益は4億57百万円(前年同期比2.0%減)となりました。

(ヘルスケア事業)

夏物一般寝具が苦戦する一方、需要の底堅い健康ビジネス関連商品の企画・製造・販売に注力したことが奏功し、売上高は3億61百万円(前年同期比3.5%増)と増収、営業損失は13百万円(前年同期は営業損失25百万円)に改善しました。

(繊維・アパレル事業)

衣料品の購買意欲が高まらない中、中国現地法人での中国内販ビジネスに支えられ売上高は5億99百万円(前年同期比1.3%増)と増収となりましたものの、衣料部門での在庫処分に伴う損失計上もあり、営業損失は14百万円(前年同期は営業損失2百万円)となりました。

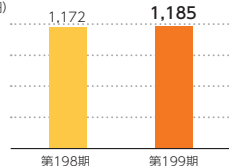
<最後に>

当第2四半期におきましては、概ね順調に中期経営方針に基づく諸施策に取り組むとともに、本年6月の株主総会決議に基づく減資を実施いたしました。この結果、財務面を含め、業績は順調に推移しております。今後とも、ESGの観点も踏まえて、経営理念である「進取の精神」と「自利利他の心」に基づき、中長期的な企業価値の向上に真摯に取り組んでまいります。引き続き、株主の皆様のご支援ご鞭撻を何卒賜りますようお願い申し上げます。

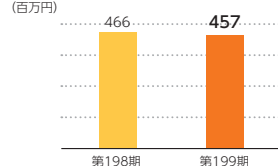
事業セグメント別の業績 (グラフは第2四半期累計期間の実績)

商業施設事業

売上高 (百万円)

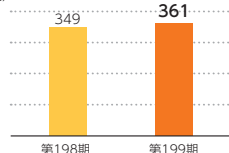


セグメント営業利益 (百万円)

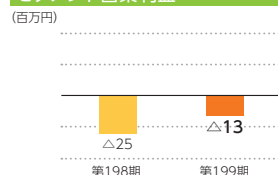


ヘルスケア事業

売上高 (百万円)

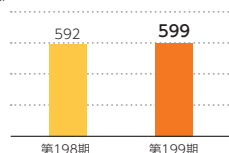


セグメント営業利益 (百万円)

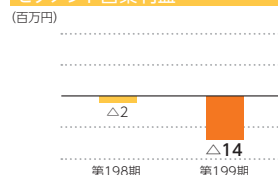


繊維・アパレル事業

売上高 (百万円)



セグメント営業利益 (百万円)

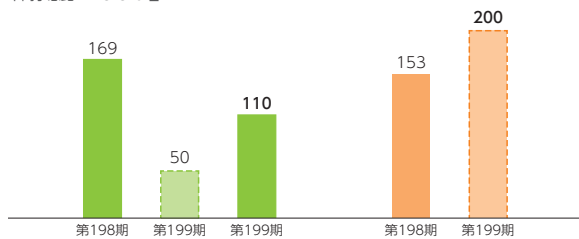


■ 経常利益

110百万円

前年同期比 35.0%減
中間予想比 120.0%増

■ 第2四半期累計期間 ■ 通期 (単位: 百万円)



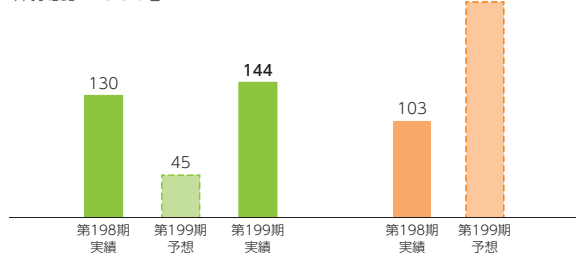
(注) 上記予想は発表日現在で入手可能な資料に基づき判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

■ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

144百万円

前年同期比 10.5%増
中間予想比 220.0%増

■ 第2四半期累計期間 ■ 通期 (単位: 百万円)



代表取締役社長

山内一裕

当社は123周年を迎えることを機に新しいロゴマークを作り、「新しい時代の先へ」をテーマに事業展開を加速させています。今回は「新しい時代の先へ」にちなんで、



山内

実は、当社はクライミングに浅からぬご縁があるのです。当社の主力事業である商業施設「サントムーン柿田川」（静岡県三島市近郊所在）には、21年以上前のオープン当初からクライミングのトレーニング設備を有するアウトドア専門店があるので。開店当時は日本一の高さだったと聞いています。さらに、現在進行中の「サントムーン柿田川」第4期開発の一環として別棟を新築し、先般10月11日に、クライミング設備を一新のうえアウトドア専門店SWENが先行開業したところですよ。（写真ご参照）



大場

私が生まれる前から、ダイトウボウグループがクライミングにご縁があったとは驚きまし



アウトドア専門店SWEN
2018年10月11日オープン



クライミング設備



山内

当社グループは不採算の繊維事業で長年苦しみました。常に何か解決策があるとの信念のもと、失敗しても新しい展開にチャレンジを繰り返してきた結果、今があると思っています。現在注力している「サントムーン柿田川」の第4期開発は、当社の未来を切り拓く新しい挑戦です。ところで、クライミングは、とても登れそうもない壁を相手に、不断の努力と新しい挑戦を続けるスポーツだと感じています。その魅力は何ですか？



大場

1回成功するために何百回と落ちるのがクライミングです。落ちてまた登ることを何度も繰り返すのですが、ダメだと思ってやったら絶対に最後の一手は取れません。ルートを発見し、最後まで切り切った時の爽快感は何物にも代え難いものです。また、世界中に難度の高い岩があり、それらを制覇していくという冒険と挑戦は、私の夢の一つです。誰も

プロクライマー

大場美和

2020年東京オリンピックの追加種目に決まったスポーツクライミングの世界から、プロクライマーの大場美和選手にお越し頂き「挑戦と冒険」をテーマに山内社長と対談して頂きました。

登ったことのない未知の岩を制覇すると名前を付けられるのですが、実は、私の名前がついた岩もあるんですよ。

山内 想像も出来ない大変な思いをしながらクライミングを通じて、未知への挑戦と新たな冒険を続けておられるのですね。当社グループの経営理念である「進取の精神」は、変化に柔軟に対応し新しいことを取り込むという考え方であり、その精神は現在取り組んでいる中期経営方針「Get Ahead of the Future ～新しい時代の先へ～」にも脈々と受け継がれています。当社グループは、今後とも挑戦を続け、変化の激しい経営環境を乗り越えて一段と高い水準で持続的な成長を続けていく考えです。大場選手も、さらなる高みに向かって挑戦を続けるのですね。

大場 はい。私は世界中の多くの難しい岩に挑戦し続けたいと思っています。その過程で多くの難関があると思いますが、私の挑む姿勢を皆さんに応援して頂けたら嬉しいです。また、今後スポーツクライミングがより多くの方に知られてファンが増えるよ

大場美和選手プロフィール

スポーツクライミングのうちボルダリングを得意とし、ユース年代から国内外で数々の実績を残し、2015年・2016年に日本代表。現在は、自然の岩にとことん向き合いたいとの思いからプロクライマーに転身し活躍中。TV・CM・イベント出演多数。1998年生まれ 愛知県出身

うに積極的に活動を行っていきたいと思っています。

山内 大場さんの夢が叶うよう応援します。当社グループは、東京オリンピック・パラリンピックの2020年に125周年目の節目を迎えることを契機に、さらなる大きな飛躍に向けて頑張ります。



決算レビュー

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当第2四半期末 2018年9月30日現在	前期末 2018年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	2,860,617	2,959,388
固定資産	16,157,186	15,929,467
有形固定資産	15,639,222	15,497,544
無形固定資産	6,373	8,181
投資その他の資産	511,590	423,741
資産合計	19,017,804	18,888,855
(負債の部)		
流動負債	1,674,943	1,646,688
固定負債	13,054,077	12,791,231
負債合計	14,729,020	14,437,919
(純資産の部)		
株主資本	△ 372,287	△ 558,177
資本金	100,000	1,500,000
資本剰余金	—	503,375
利益剰余金	△ 462,509	△ 2,554,346
自己株式	△ 9,777	△ 7,206
その他の包括利益累計額	4,653,923	5,004,849
新株予約権	7,146	4,264
純資産合計	4,288,783	4,450,935
負債純資産合計	19,017,804	18,888,855

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期 (累計) 2018年4月1日から 2018年9月30日まで	前第2四半期 (累計) 2017年4月1日から 2017年9月30日まで
売上高	2,147,439	2,113,985
売上原価	1,564,930	1,494,507
売上総利益	582,509	619,478
販売費及び一般管理費	394,068	391,988
営業利益	188,440	227,489
営業外収益	7,046	3,813
営業外費用	85,468	62,089
経常利益	110,018	169,214
税金等調整前四半期純利益	110,018	169,214
法人税、住民税及び事業税	3,562	40,068
法人税等調整額	△ 37,546	△ 1,208
四半期純利益	144,002	130,354
親会社株主に帰属する四半期純利益	144,002	130,354

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期 (累計) 2018年4月1日から 2018年9月30日まで	前第2四半期 (累計) 2017年4月1日から 2017年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,645	177,917
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 192,040	9,334
財務活動によるキャッシュ・フロー	189,982	△ 183,447
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 30	△ 551
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	21,557	3,252
現金及び現金同等物の期首残高	1,777,319	1,668,446
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,798,876	1,671,698

ビジネスフィールド

商業施設事業

心地よい生活文化を提案し続けるダイトウボウの商業施設。「お客様に喜ばれる空間づくり」を基本ビジョンに、豊かな生活空間を提供してまいります。

- ショッピングモール



ヘルスケア事業

高齢化の進展と健康意識の高まりに応じて、当社独自技術の商品を活かして、お客様の健康で快適な生活をサポートします。当社グループの国内生産拠点の高い技術力が強みです。

- 健康関連素材
- 健康食品
- 家庭用医療機器
- 一般寝装品



繊維・アパレル事業

ダイトウボウは「お客様に喜ばれるモノづくり」を基本ビジョンとして、アパレルファッションからユニフォームまで幅広くお客様のニーズに応じてまいります。

- 官・民ユニフォーム
- ニット企画
- 生産管理型OEM

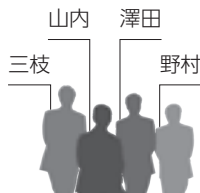


役員の状況

取締役（監査等委員である取締役を除く）



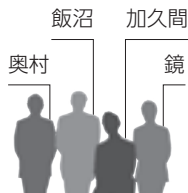
代表取締役社長 山内一裕
 代表取締役副社長 野村利泰
 取締役執行役員 三枝章吾
 社外取締役 澤田康伸



監査等委員である取締役



取締役 監査等委員 加久間雄二
 社外取締役 監査等委員 飯沼春樹
 社外取締役 監査等委員 鏡 高志
 社外取締役 監査等委員 奥村秀策



執行役員



繊維・アパレル事業本部長 青木寛繁
 商業施設事業本部長・大東紡エステート(株)社長 飯田 互



(注1) 澤田康伸氏、飯沼春樹氏、鏡高志氏および奥村秀策氏は社外取締役（独立役員）であります。
 (注2) 監査等委員4名をメンバーとする監査等委員会を設置しております。

会社概要 / 株式の状況 (2018年9月30日現在)

会社概要

創立	1896年2月27日
資本金	100,000,000円
事業所	東京都中央区日本橋本町1丁目6番1号 ☎ 03 (6262) 6565
名古屋営業部	愛知県一宮市本町4丁目17番9号 ☎ 0586 (23) 4811
大阪営業部	大阪市中央区南久宝寺町2丁目3番6号 ☎ 06 (6262) 8322
グループ会社	大東紡エステート株式会社 (静岡県) 新潟大東紡株式会社 (新潟県) 上海大東紡織貿易有限公司 (中国)

株主優待のご案内

1 対象となる株主様

毎年3月末現在の株主名簿に記載または記録された、当社株式100株以上を継続して6か月以上保有されている株主様を対象とします。

2 株主優待の内容

継続保有期間	保有株式数		
	100株以上 1,000株未満	1,000株以上 2,000株未満	2,000株以上
6か月以上 1年未満	当社ECサイト 取扱商品の 優待割引券 1回分	①2,000円相当の フオカード ②当社ECサイト 取扱商品の優待 割引券1回分	①4,000円相当の フオカード ②当社ECサイト 取扱商品の優待 割引券1回分
1年以上	当社ECサイト 取扱商品の 優待割引券 2回分	①3,000円相当の フオカード ②当社ECサイト 取扱商品の優待 割引券2回分	①5,000円相当の フオカード ②当社ECサイト 取扱商品の優待 割引券2回分

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金配当基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 (特別口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)
(電話照会先)	電子公告により公告
公告方法	ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない場合 の公告方法は、日本経済新聞に掲載して行う。

株式の状況

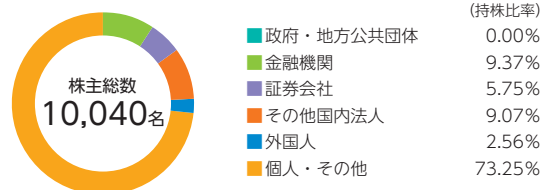
発行可能株式総数	96,000,000株
発行済株式の総数	30,000,000株
株主総数	10,040名

大株主 (上位10名)

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
ファーストブラザーズ株式会社	682	2.27
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	611	2.04
株式会社シード	501	1.67
株式会社デベロッパース三信	500	1.67
三木証券株式会社	500	1.67
日本証券金融株式会社	405	1.35
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口2)	401	1.34
松井証券株式会社	339	1.13
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	302	1.00
五十嵐 和博	300	1.00

(注) 持株比率は自己株式 (68,699株) を控除して計算しております。

所有者別株式分布



IRインフォメーション

当社ホームページでは決算短信や有価証券報告書をはじめ、最新の財務情報・適時開示情報等のIR情報を掲載しております。是非ご覧ください。
<http://www.daitobo.co.jp/ir/>



ダイトウボウ株式会社

<http://www.daitobo.co.jp/>

本冊子に関するお問合せ先 経営管理本部 TEL : 03-6262-6565

